

# 大学構内での体調不良者・傷病者発生時の対応



学内AED設置場所  
(保健管理センターHP)



鳥取大学救急対応フローチャート

周囲の安全確認

安全が確保できない / 自らも危険となる可能性

自らの安全を守る行動を取る

110番

安全 / 安全が確保

意識

ない  
(返事がない)

明瞭  
(症状の説明が可能)

症状・状態が

- ・歩けない
- ・持続するめまい
- ・骨折
- ・眼の怪我、異物や化学薬品の混入
- ・持続又は繰り返す胸部不快感や胸痛
- ・短期間に繰り返す腹痛・嘔吐・下痢など

よくわからない  
または  
判断出来ない

直ちに  
医療機関を受診

状況に応じ、  
保健管理セン  
ターに応援を  
依頼

いずれにも該当しない  
かつ 歩ける

保健管理センターに来所して下さい

呼吸

ない  
(確認不可)

問題ない  
(規則正しい)

119番

- ・周囲の人に協力を求める
- ・AEDを準備 → p2

重大な病気やけがの可能性がります！

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニツコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- むれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

おとな

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐい急にならつく

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐい急にならつく

胸や背中

- 突然の激しい胸痛
- 息が切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような痛みが2〜3分続く
- 痛み場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい嘔吐が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の障害

- 意識がない(返事がない)
- またはおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

いずれかに該当

引用:ためらわず救急車を呼んでほしい症状  
出典:救急車を上手に使いましょう(消防庁 令和7年10月発行)  
消防庁HP:<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html>

## 1) 119番に通報

- ・指令員(救急隊員)から“火事ですか?救急ですか?”と問われる
  - ▶ 「救急です」と伝える
- ・指令員から必要な事を順番に尋ねられる
  - ▶ 落ち着いて、解る範囲で正確に情報を伝える
  - ▶ 救急隊到着まで、その場で指令員の指示に従う

## 2) 状況に応じ、119番通報後、保健管理センターに連絡

- ▶ 伝えること(わかる範囲で)
  - ① 場所(できるだけ具体的に)
  - ② 氏名・性別、学生番号(職員は所属部署)
  - ③ 症状/状態、経過

## 3) 学内関連部署に、119番通報と発生場所を連絡 → p3

## 車いす・担架の使用について

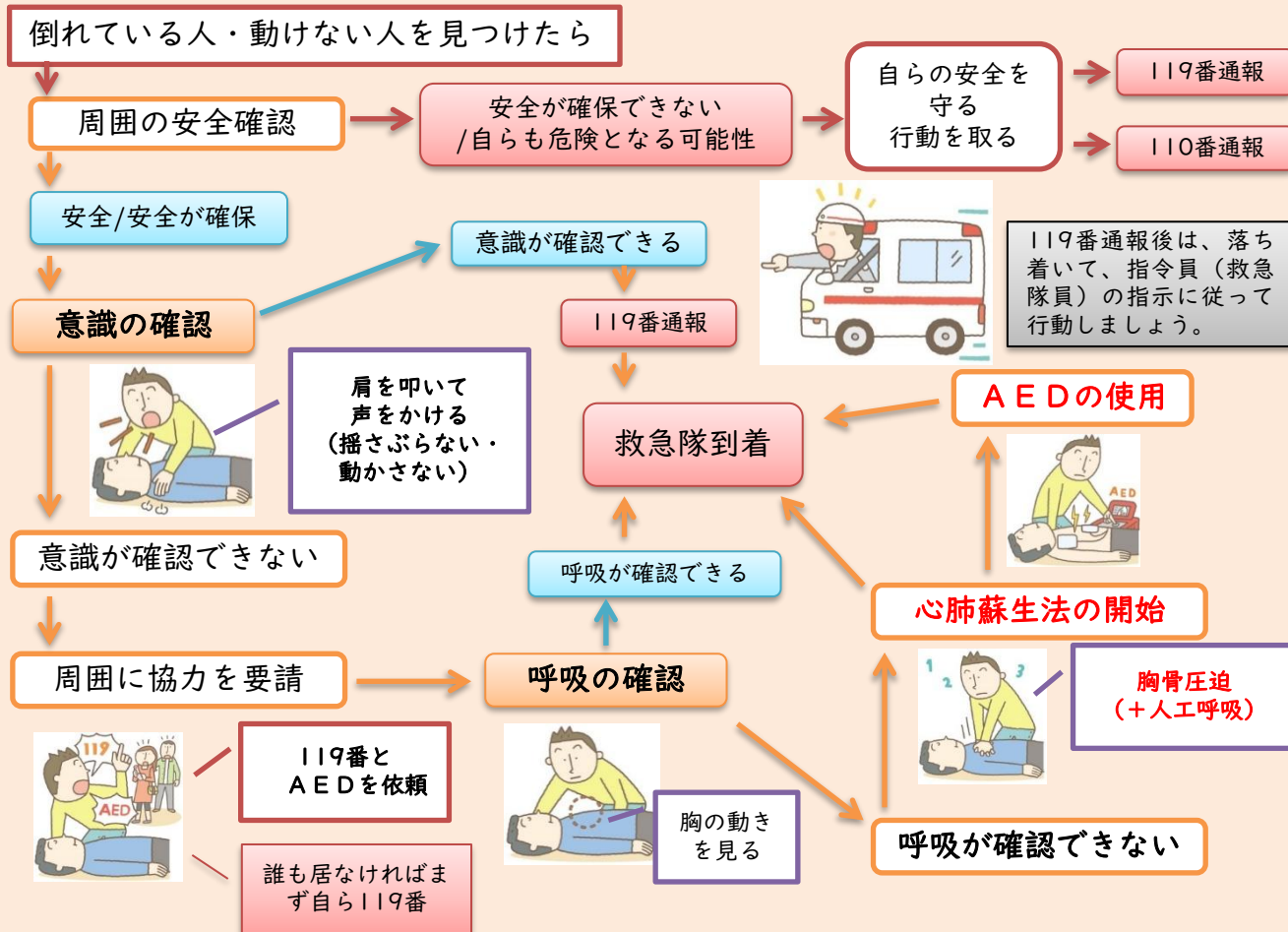
・車いす  
意識が明瞭で、傷病者の了解が得られた場合にのみ、短距離の移動に限って使用。

・担架  
使用しないでください。

いずれも、使用により、病状悪化の危険があります。

【119番】119, 学内電話からは 0119  
【保健管理センター】 鳥取地区:0857-31-5065  
米子地区:0859-38-6495

# 心肺蘇生法（胸骨圧迫とAEDの使用）



## 胸骨圧迫を開始

- ・強く（約5cmの深さ）
- ・早く（100~120回/分）
- ・絶え間なく

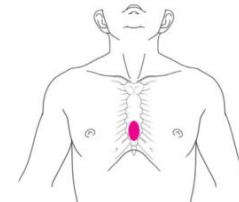


図11 胸骨圧迫をする場所

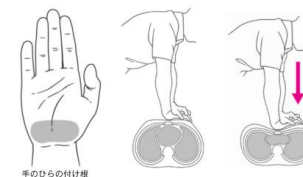


図12 胸骨圧迫の方法

引用：胸骨圧迫を行う（胸骨圧迫をする場所・胸骨圧迫の方法）  
出典：改訂6版救急蘇生法の指針2020市民用 監修：日本救急医療財団心肺蘇生法委員会（へるす出版 2021年9月発行）

## AEDの使用

- ・AEDの電源を入れる
- ・電極パットを肌に貼る
- ・AED音声の指示に従う